

# 小学校国語A (主として「知識」に関する問題)

平成29年度  
全国学力・学習状況調査

## 問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。漢字、ことわざ、言葉の意味や使い方、文章の読み取り、手紙の構成などが出題されています。

## 全体の正答率

\* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して  
1.3ポイント下回っています

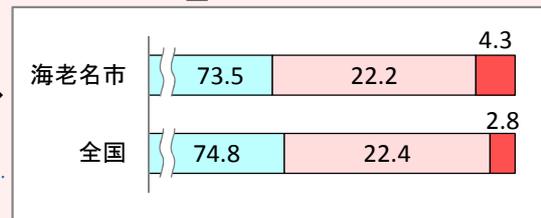
### 《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語A	73.5	73.0	74.8	-1.3

誤答の様子を…

### 《誤答の内訳(%)》

■ 正答 ■ 誤答(書いたが不正解だった)  
■ 無解答(何も書かなかった)

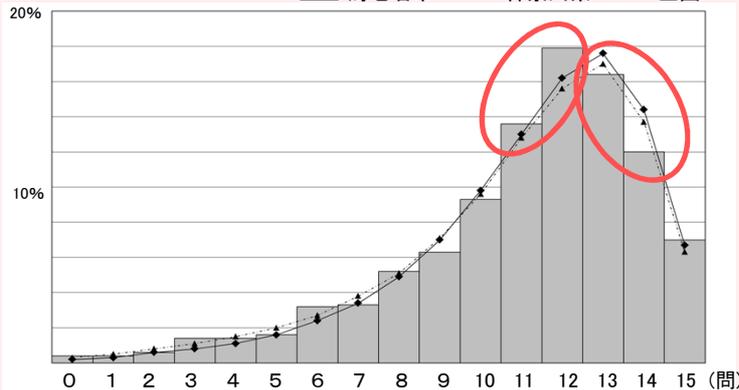


無解答率(何も書かなかった)は4.3%でした。

分布の様子は…

### 《正答数による分布》

■ 海老名市 ▲ 神奈川県 ◆ 全国



全国と比較すると  
11~12問の児童が特に多く  
13~14問の児童が少ないことがわかります

\* 正答率50%以下(0~7問)の児童の割合は12.2%でした。(全国は10.4%)

\* 正答率80%以上(12~15問)の児童の割合は53.3%でした。(全国は54.7%)

## 領域別の正答率

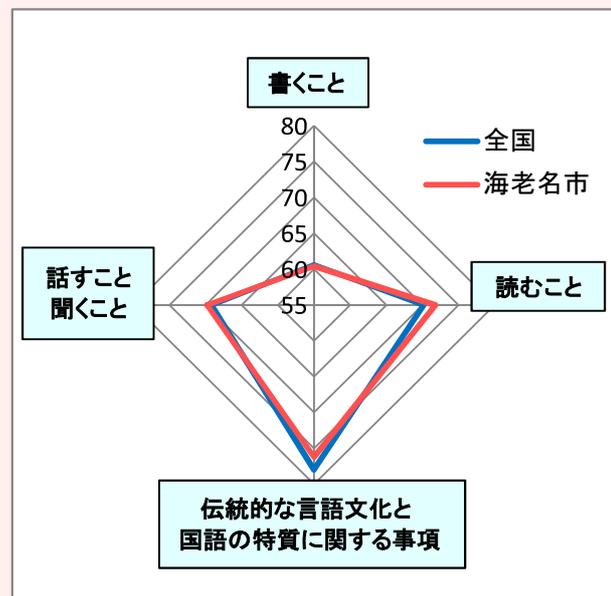
「話すこと・聞くこと」「読むこと」  
が全国をやや上回っています

### 《平均正答率(%)》

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	69.8	69.2	+0.6
書くこと	60.4	60.6	-0.2
読むこと	71.8	70.2	+1.6
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.2	78.0	-1.8

\* 「読むこと」については、1.5ポイント以上、上回っていました。

\* 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、1.8ポイント下回っていました。



## 内容について

\* ( )内は、平均正答率の全国との比較

**全国を上回った設問**

- 俳句について話し合った文を読んで話合いの要点を選ぶ。( +3.0)
- 古文を音読して気がついたことのメモを見て、何をまとめたものか選ぶ。( +1.8)
- お礼の手紙を読んで、書かれた内容の説明を選ぶ。( +1.2)

**全国を下回った設問**

- 漢字を書く。(対象) (-9.7) (置いてある) (-5.3)
- 漢字を読む。(事務室) (-3.1) (指示) (-2.0)
- ことわざの意味を読んで、正しい使い方の文を選ぶ。(もちもち屋) (-1.9)

### 国語Aで平均正答率が全国を下回った設問の例

#### 漢字の読み書きの設問

—— 部の漢字の読みをひらがなで、--- 部のひらがなを漢字で、それぞれていねいに書きましょう。

4年生のみなさんへ

放送委員会

委員会活動の体験のお知らせ

- 1 日時 2月19日(月)～2月22日(木) 10時25分から10時45分まで
- 2 集合場所 多目的ルーム
- 3 参加たいしょう 4年生のきぼう者  
(1) (全国との比較-9.7) (2) (全国との比較-1.0)
- 4 申し込み期限と申し込み方法  
(3) (全国との比較-1.9)
  - ・ 2月14日(水)までに申しこんでください。
  - ・ 事務室前に申し込み用紙と箱がおいてあります。用紙にクラスと名前を書いて、  
(4) (全国との比較-3.1) (5) (全国との比較-5.3)
  - 箱に入れてください。
- 5 お願い
  - ・ 当日は、全員が体験ができるように、放送委員の指示にしたがってください。  
(6) (全国との比較-2.0)

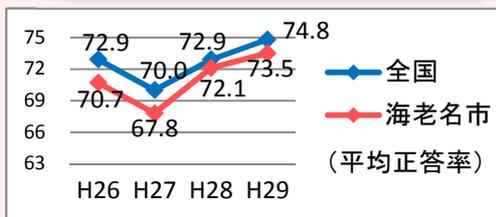


☆国語Aのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

## 考察

- ◆ 全国と比べて、正答数が11～12問の児童が多く、13～14問の児童が少ないことから各領域において確実な定着を図る必要がある。
- ◆ これまでも言語に関する事項に課題が見られたが、今年度は特に漢字の読み書きに大きな課題があり、確実に身につけるための指導の工夫が求められる。
- ◆ 文章中から表現の仕方や必要な情報を読み取ることができており、経年比較から見ても確実に読む力が伸びてきている。

### これまでとの比較



◆ 平成29年度は平成28年度に比べて差が大きくなっているが、以前よりは差が小さい。

◆ 平成26・27年度は全領域において全国を下回っていたが、平成28年度は3領域、平成29年度は2領域で全国を上回っている。

### 指導の改善にむけて

- ◆ 「言語事項を確実に身につける」ために
  - 漢字について、日常の中で繰り返し指導するなど、工夫を図る。
- ◆ 「基礎的な力の定着を図る」ために
  - 一問一答ではなく、複数のことを考えあわせてよりよい考えを導くような活動を継続する。